

所 属	教育委員会 研修管理課 情報処理研修室		
担当(係)名	情報基盤整備担当	内 線	800 + 63

(款)10教育費	(項)1教育総務費	(目)(4)教育指導費
(明細書事業名) 総合教育センター費 21世紀「岐阜県型」情報教育推進事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

1,561,397

2 当初予算(決定)額(千円)

1,056,160

(前年度610,800)

【財源内訳】

国 庫

1,182

一般財源

1,054,978

3 事業概要

情報技術(IT)の急速な発達によって社会の様々な分野での情報化が進んでいます。21世紀を担う子どもたちには、この情報技術を自由に活用できる能力が求められています。

そこで、全国に先駆けて県内学校の情報基盤を整備・強化して「教育の情報化」を推進します。

4 施策の効果

ITの基礎・基本を習得し、21世紀の高度情報通信社会で活躍できる人材を育成します。

情報・通信を利用した学習により、主体的に学ぶ能力の育成や教育用コンテンツを利用した「分かりやすい授業」が実現されます。

5 要求の内容

Aキューブプラン推進費 (予算要求額 2,321千円)

岐阜県の学校の情報化におけるAキューブプランの推進について、外部の有識者による検討会議を行います。

校内LAN整備事業費補助金 (予算要求額 333,600千円)

小中高一貫した情報教育を推進するため、市町村が実施する校内LAN整備事業費の一部を助成します。

補助率 1 / 3

実施校 200校

学校間ネットワーク管理運営費 (予算要求額 67,675千円)

児童生徒が安心して、快適に活用できる高速な「学校間総合ネット」の運用管理を行います。

県立学校間 1 Gbps

インターネット接続 6 Mbps

特殊教育諸学校情報機器整備事業費 (予算要求額 28,743千円)

児童生徒の障害の状態や程度に応じた校内LANアクセス用パソコン等を整備します。

整備対象校 9校

整備内容 障害児童生徒用パソコン、意思伝達装置、発生発語練習装置等
教育用コンテンツ開発事業費 (予算要求額 41,000千円)

情報ネットワークを活用した学習をする上で必要となる教育用コンテンツの開発・

収集を行います。

対象教科 国語、社会、生活、音楽、美術、体育、英語、農業、工業
商業、特殊教育

県立学校情報環境推進モデル事業費（予算要求額 202,098千円）

生徒たちが、図書室や特別教室等で自由に情報検索できるように、希望する県立学校100カ所に、インターネットに接続されたパソコン10台で構成する「情報スペース」を整備します。

学習支援用コンピュータ整備事業費（予算要求額 885,960千円）

生徒たちが、授業で利用するだけでなく、家庭でもパソコンを利用した学習ができるような情報環境を整備します。

整備内容 ノート型パソコン10台を1セットとして3,000台

6 用語の解説

< Aキューブ >

Anytime Anywhere Accessible = A³ (いつでもどこでもITを使える)

< 情報スペース >

図書室や特別教室等にインターネットで情報検索ができるパソコンを10台整備した学習の場。

7 決定内容

決定額 1,056,160千円

Aキューブプラン推進費 0千円

学校の情報化に向け、これまでも重点的に取り組んでいるところであり、本事業についても他事業を活用するなど意見聴取等に努めることとし、予算計上を見送ったもの。

校内LAN整備事業費補助金 333,600千円

学校間ネットワーク管理運営費 66,000千円

特殊教育諸学校情報機器整備事業費 28,560千円

教育用コンテンツ開発事業費 32,000千円

コンテンツ活用のための編集ソフトの新規導入については、必要に応じ既定の予算枠で対応することとした。

県立学校情報環境推進モデル事業費 126,000千円

学習支援用コンピュータ整備事業費 470,000千円

パソコン整備については、過去の導入実績により単価を精査してうえで、他事業による導入台数も含め、県立学校において3人に1台程度の配備となるよう所要額を措置した。